

# 2018年11月16日 第3268回例会

情報集会

於： よこすか平安閣

## 《 6F パルテノン 》

### 【 情報集会 】 18:30 ロータリー財団とグローバル補助金(VTT)の 活動報告ならびに方向性



司会 齋藤秀人 幹事

＜ロータリー情報・研修委員長より挨拶＞

明野 充功 ロータリー情報・研修委員長

会員の皆様にはもっと積極的に行動すべきではないかとお叱りを受けるところではないかと思いますが、なかなか時間も取れない事情もあるところです。今後も努力していく所存ですのでどうぞよろしくお願いたします。当委員会としての重点を置くVTTの活動ならびに方向性についてご説明致します。

#### ① ロータリー財団と横須賀RCについて

岡田 英城 VTT委員長

「子供たちの口唇口蓋裂を治療して私たちの得たものは」というサブタイトルですが、我々特別委員会のメンバーは一人ひとりアプローチが異なっていますので、その点をご容赦頂きお聞き願えればと思います。ロータリー財団は我々の寄付を集めてそれを世界中に展開しております。ロータリー財団は昨年創立百周年を迎えました。今までに約30億ドル(3,300億円)のお金を使ってきています。ロータリー財団の使命は我々の寄付を集めて貧困を救済し、世界理解、親善、平和が達成できるようにすることです。財団の収支報告、支出については年間の寄付額が335億円で昨年から40億円増加しています。そして投資純益は年間107億円で、全体の収入合計は約440億円です。プログラム補助金が243億円、支出合計が296億円で総資産は1,165億円となっています。その中で支出は、ポリオプラスが119億円、今回説明させて頂くグローバル補助金が80億円、地区補助金が28億円であります。グローバル補助金は人道的プロジェクト、奨学金：大学院レベルの留学、そして職業研修チーム(VTT)に支出しています。世界を変える行動人という表現でロータリアンは呼ばれていますが、昨年の奉仕プロジェクト数は30,000件、ボランティア活動の時間は全体で2,430万時間、ロータリークラブ数は35,656で、全世界のロータリアンは120万人です。これは、1人当たり年間20時間はボランティア活動をしている計算になります。関係する団体はローターアクト、インターアクトそして交換留学生で、それらを含めるとかなり多様な活動をしていることとなります。世界を変える行動人という観点から他国の状況をみると、タイのバンコクロータリークラブは就職難にあえぐ近隣諸国の住民のために就職センターを作り、ドイツではプラスチックゴミの埋め立てに対する活動等、世界中で30,000件の活動がされています。

一方、横須賀ロータリークラブでは過去10年間に28,498,250円(¥110)をロータリー財団に寄付してきました。また活動実績としては2007年(宮島会長)、ブラジルサンパウロの公立病院に自動白血球カウンターを送る事業に330,000円支出、その後、野坂会長、岡会長、鈴木康仁会長時に口唇口蓋裂の手術を行っていたNPO法人 神奈川歯科大学南東アジア支援団KDU-SASに各100,000円寄付をしました。その後2013年飯塚会長の時に久保田委員がフィリピンのネグロス島で医療活動を開始したことが今のVTTに繋がっています。2014年、吉田会長の時にグローバル補助金(6,765,000円)を獲得し、歯科医師2名、看護師1名、言語聴覚士4名が来日し手術や言語治療に関する知識、技術等の研修を行いました。同年(明野会長)8月にネグロス島ホリーチャイルド病院にて18名の患者の手術を行いました。2016年(谷会長)には、4,290,000円のグローバル補助金を獲得し、フィリピンセブ島ADVENTISTS HOSPITALにて施術し、2017年小佐野PG、久保田会員、齋藤 眞 会員、齋藤 眞 会員、山下会員、そして私がセブ島RC85周年記念式典に参加しました。

さらに、今回申請した結果16万ドル(約1,760万円)の予算獲得に成功しました。横須賀RCとしては1,155,000円の負担となり、これにより、この10年間の獲得予算は3,100万円となりました。今後の計画ですが、「フィリピンにおける口唇口蓋裂医療の技術移転と診療拠点設立」というプロジェクト名で、この

1,760万円を使っていきたいと思っています。プロジェクトの概要としては3年計画で、保険医療制度の利用できないフィリピン国の口唇口蓋裂患児に対し、慈善医療活動を行うとともに、現地医療スタッフに口唇口蓋裂医療の技術移転と教育を行い、現地の医療人による治療の確立を支援します。そして最終的には受益地域の口唇口蓋裂患児の治療拠点である、口唇口蓋裂センターの設立を目指すことを目標にします。課題としては横須賀RCの会員誰もが参加できるようなプロジェクトにしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

## ② 今までの取組と今後の活動にかける思い (ビデオレター)

保田 英朗 VTT委員

皆さん今晚は。本日は地元で医師会、歯科医師会、薬剤師会、獣医師会の会議があり、この情報集会に出席できません。このビデオレターをもって私の思いを皆様にお伝えしたいと思います。

横須賀ロータリークラブでは過去2回に亘りグローバル補助金の援助を得てフィリピンの口唇口蓋裂児の治療を行ってきました。

今まで多くの患者を治療してきましたが、それは氷山の一角に過ぎないというを思うようになりました。現地の医師たちが独力で口唇口蓋裂医療が出来るようになるよう支援することが、真の海外援助ではないかと思うようになりました。昨年セブ島RC設立85周年記念式典に参加した際に、彼らのこのプロジェクトに対する熱い思いが伝わってきました。この3年間のプロジェクトの目的は2つあります。1つは現地の若手医師が口唇口蓋裂治療を出来るように医療技術の移転を行うこと、そしてもう1つは現地で患者のフォローアップが出来るような施設をセブ市内に設立することです。私どもはそれを「口唇口蓋裂センター」と名付けていますが、それを実現するためにもう既に歯科、耳鼻科、麻酔科からなります医療法人から口唇口蓋裂センターを設立する内諾を得ております。また口唇口蓋裂医療に興味を持つ若手医師の人選もマニラ大学教授にお願いし人選をしてもらっております。本プロジェクトの拠出金についてはセブ側が44%、横須賀側が56%と過去に類を見ない援助対象国側の巨額な拠出金となっており、彼らの期待の大きさを感じられるところであります。これから数多くのペーパーの提出、セブRCとの多くの打合わせが必要となりますが頑張ってやって行こうと思っております。皆様、宜しくお願いします。

## ③ ボランティア活動に参加して

齋藤 眞且 VTT委員

皆様の多くはセブ島というとスライドの様な美しい島を想像されると思いますが、一步路地裏に入ると「アム ハングリー」と言い寄って来る子供たちが沢山いる国でもあります。セブのロータリアンの中には自宅の庭にゴルフ場や飛行場を持つ方もいらっしゃる一方、その日の食べ物にも事欠く子供たちもたくさんいるという事実もあります。

私は久保田先生が主体となって進められているVTTの口唇口蓋裂手術のお供をさせていただいております。フィリピンエアーの機内は遊びに行く日本人の若いカップルやフィリピンの女性と日本人男性のカップルが多く見受けられました。セブ島に行くにはフィリピンエアーのみしか運航されておらず、毎回フィリピンエアーで成田より出発しております。成田からは医療機器や手術に関連する材料の入った段ボール箱の山とともに出発します。セブ・マクタン空港は綺麗な空港ですが、一步外に出ると違法駐車車両、人々の怒号、車のクラクション等、喧噪の中に暑さも加わり混沌とした空港前の風景でした。また、飛行機の遅れなどで夜中の3時にホテルに到着し、朝7時には朝食、そして8時には病院に着くという事もありました。

現地ではROTARY OPERATION SHARE A SMILE 【ROSAS】という横断幕で歓迎を受けました。病院に着くと直ぐに打ち合わせ会議が始まりましたが、はりつめた感じはなく南方特有の温かさが感じられました。その後、患児への久保田先生の術前の回診があり、病室は家族や親族が詰めかけていました。術前の準備は私の担当でした。3日間のオペ日に20人近くの患者さんがいるため、オペ室では2人の患者を同時進行でオペを行い、8時から20時まで続けてオペを行わないと終わらないという状況でした。4人一組でオペを行いましたが、私もオペに参加させて頂きました。私たちの得たものは、行って帰ってくる単なる慈善医療ではなくて技術移転がVTTの本来の目的であるということ、こちらの都合で勝手に行うのではなく地域の事情や国民性を理解し、そのためには地元のクラブと密接な関係を持ち、友情を大切に維持する事が大切であると思ったことです。私個人が得たものとして、神の手を目の当りに見た事、つまり久保田先生の神業をしっかりと見させていただいたということです。

#### ④ セブRCとの関係と横須賀RC会員として

山下 和男 VTT副委員長

私は会員としての立場から本活動についてお話しさせていただきます。セブRCは1933年に設立され、1919年設立のマニラRCの後、アジア・フィリピンで2番目に古いロータリークラブです。ちなみに東京RCは1920年、横須賀RCは1951年設立です。セブRCは積極的に多くのプロジェクトおよびアクティビティを行っているクラブです。日本の四街道RC・大阪アーバンRCや韓国のテグRCと姉妹クラブを提携し、共同でプロジェクトを行っています。献血車の寄贈や、適切な栄養による学業成績の向上プログラム等行っているとのことです。

セブRCでは、口唇口蓋裂の治療の事業はセブRCと横須賀RCの共同プロジェクトと位置づけされており、医療援助活動VTTではありません。これから行う事業もセブRCのメンバーと横須賀RCのメンバーが共に事業を行うという意識を持って頂くことが重要であり、是非この国際共同プロジェクトに参加して頂きたいと思います。参加の仕方はドネーションや横須賀RCは医療関係者の方も多いのでその知識、経験、スキルを生かし参加いただければと思います。皆様に参加できるように考えておりますので、クラブの会員の一人ひとりが是非参加して頂ければと思います。

#### ⑤ まとめ

飯塚 進一郎 VTT委員会カウンセラー

皆様こんばんは。今日の提案を受けまして岡田委員長が非常に頑張ってこの企画を作り上げてくれました。ありがとうございました。また他のメンバーも作り上げるという事に努力され良い勉強になったと思います。

今まで横須賀RCとして行ってきたことを、一度まとめて今後どういう方向に行くのかということがこれでよく解っていただけたと思います。セブRCには自らも多額の拠出金を出していただき、従前のようにただこちらから治療に行くだけでなく、センターを作り、そこに相談に行けるような体制を作りたいというのが今回のプロジェクトでございます。横須賀RCとして皆様には寄付のご協力をいただくということになるかもしれませんが、ご理解いただきたく、また交流をするためにセンターを作りますので医療関係者でなくても現地に行っていたいただける機会を作りたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

#### ⑥ 講評

明野 充功 ロータリー情報・研修委員長

委員の皆様ご苦勞様でした。今後とも当委員会を応援して頂きたいと思います。皆様よろしくお願いたします。

.....

### 《 6F セレーネ 》

<点鐘・開会> 19:20 北村 会長

<斉 唱> 「それでこそロータリー」

<会長報告> \*11月12日(月) 第1グループ会長、幹事会報告  
・2019年3月30日(土) インターシティーミーティング開催  
外交政策研究所 宮家邦彦氏が講演予定

<委員長報告> \*梁井会員より社会・国際奉仕セミナー報告  
・11月10日(土) 於:辻堂アイクロス湘南  
約180名のクラブ会員の参加 各所属クラブの奉仕活動について報告  
横須賀RCからは物井会員が「1万メートルプロムナードクリーン作戦」を紹介  
\*田邊会長エレクトよりクラブ研修リーダーセミナー報告  
・11月13日(火) 於:辻堂アイクロス湘南

120名の参加。当クラブからは加藤元章第1グループガバナー補佐、  
小林康記第1グループ次年度ガバナー補佐参加

「クラブ研修リーダーの役割」「戦略計画とその実践」2講演

\*親睦委員会新倉 貞 委員長より年忘れ家族会について

・ビンゴ大会景品のお願い

<幹事報告> \*11月18日(日)釣り同好会初の試みで実施

<出席報告> \*出席委員会 加藤 博 副委員長より11月16日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
122名	101名	51名	50名	13名	62.14%

<ニコニコ報告>

- ・西村 俊 会員 入会月祝いとして
- ・三 役 本日はVTT特別委員会の皆様、活動報告誠にありがとうございました。今後ともVTT活動よろしくお願いたします。西村会員、本日はお世話になります。
- ・岡田、山下、齋藤 眞、飯塚 各会員 本日VTT報告させていただきます。ヨロシク。
- ・西村 俊、小平、新倉 貞、角井、福西、濱田、田邊、松本 勲、中山、藤村、外崎、兼城、前川、Enora、勝間、前田、勝見 各会員  
VTT特別委員会の皆様、今夜の報告会宜しくお願致します。
- ・野坂、鈴木 勉、高橋 倫、佐久間、澤田、長尾 各会員 先日メルキュールホテルにて4番TMを盛大に開催しました。多くのメンバーにお集まり頂き、楽しい一時でした。
- ・福西、前川、梁井 各会員 7番テーブルミーティングを先日住よしで開催され、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。江沢副会長ご参加ありがとうございました。
- ・8番テーブル飯塚マスター 先日、直きちにて8番テーブルミーティングを盛大に開催しました。大変美味しい料理で楽しかったです。
- ・加藤 博 会員 横須賀RC初の釣り大会(11/18)参加される皆様、楽しみましょう!!  
11/19試食会も楽しみにして下さい。刺し身美味、間違いなし!!
- ・齋藤 眞 会員 親バカですみませんが、娘が私の後輩になりました。
- ・岩瀬、濱田、澤田 各会員 平安閣西村さんありがとう!
- ・西村 俊 会員 よろしくお願いたします。
- ・齋藤 眞 会員 我家のオリーブの実を収穫して塩漬けにしました。お食事の際、ご賞味下さい。
- ・北村、野坂、齋藤 眞、加藤 博、佐久間、澤田、山田 備、八巻、勝見、長尾、八木 各会員 写真をいただいて

<閉会・点鐘> 19:30

## 懇 親 会

<北村会長挨拶>

本日の情報集会ではVTT特別委員会の内容について、委員の方々には大変ご協力いただきましてありがとうございました。私も含めまして今日ご参加の皆様には、どのような奉仕活動が行われているかという事を、具体的かつ立体的にご理解できたと思います。今年度以降につきましてもこの委員会は継続してまいりますので、皆様には更なるご協力を頂きますようお願いいたします。ありがとうございました。

<乾 杯> 上林 会員

海風会のバザーでは皆様ご協力いただきありがとうございました。

私達のクラブとしてのアクションとしての国際奉仕は今日お話しのパリピンセブ島における活動が私の50年における経験でも初めてのことであります。これまでつなげて頂いた方々に、久保田会員はじめ、協力してセブに行って頂いた会員に対してありがとうございますということで乾杯したいと思います。どうもありがとうございます。

<齊 唱> 21:10 「手に手つないで」

<閉 会> 21:15 江沢副会長

週報担当 松本好史